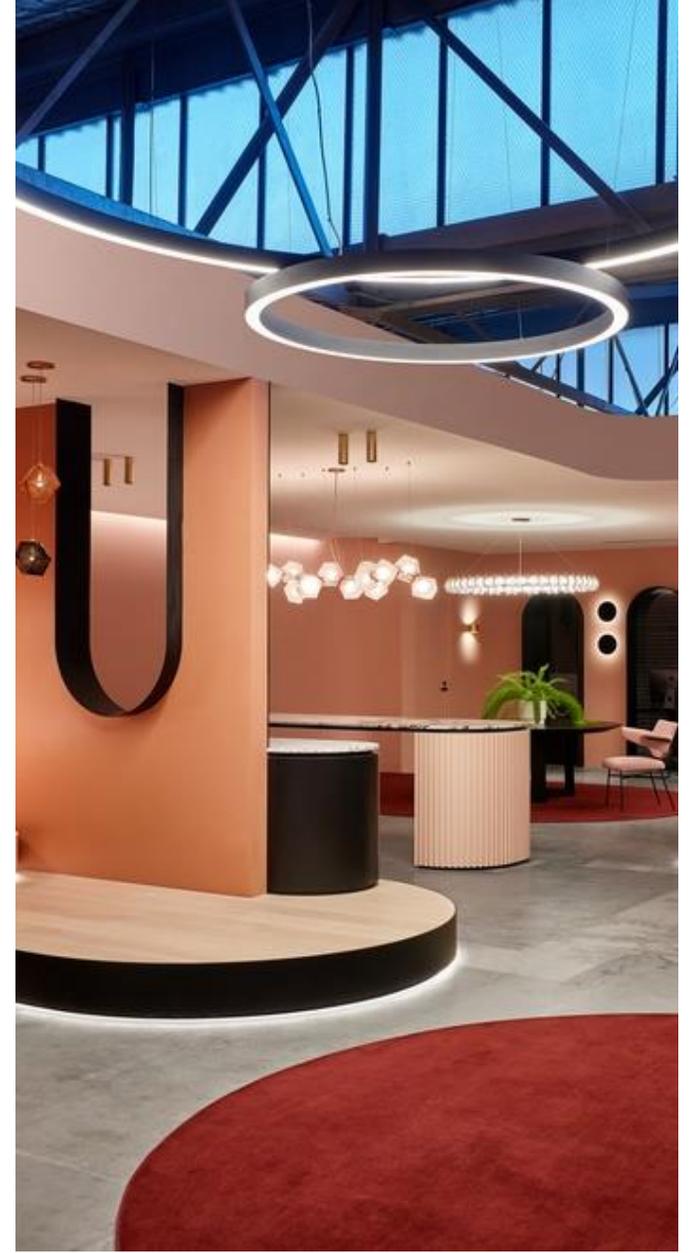


2022年5月13日

2022年12月期 第1四半期決算説明資料



目次

□ 2022年第1四半期決算 サマリー・トピックス	・・・ P.3
□ 補足資料	・・・ P.12
1. 2022年第1四半期決算 連結ハイライト	・・・ P.13
2. 2022年第1四半期決算 セグメント別	・・・ P.16
(巻末) 参考データ	

<本資料の開示データについて>

- 短信ベース・実質ベースの2通りで記載
- 実質ベースとは、継続的な事業の収益力について前年からの変化を示すため、M&Aによる新規連結影響や一時的な要因により発生した損益を調整して算出
- 本資料における定性情報は、基本的に実質ベースで記載
- 実質ベースにおける主な調整項目は下記の通り。詳細は巻末の参考データに記載
(為替影響、補助金、M&A関連費用、新規連結など)
- 補足資料の参考データにおいて、DuluxGroup社、Betek Boya社、PT Nipsea社、新規連結Cromology社の四半期業績推移を掲載

1. 2022年第1四半期の決算概況

2022年1Q※1



(短信ベース)

(億円)	実績	YoY (%)
売上収益	2,841	27.6%
営業利益	247	-0.0%
営業利益率	8.7%	-2.4pt

(実質ベース)

(億円)	実績	YoY (%)
売上収益	2,511	12.9%
営業利益	235	-12.7%
営業利益率	9.3%	-2.7pt

◆ 短信ベース

- 建築用事業における製品値上げやCromology社の新規連結効果、為替影響もあり増収。営業利益は、原材料価格や物流費の高騰により減益
- 前四半期比では、製品値上げの進捗などにより、営業利益率は2四半期連続の改善

◆ 実質ベース

- 中国の建築用事業は、旧正月の影響が想定より少なく、各地で底堅い市場成長が継続。DIYは施策推進による販売数量増加と継続的な値上げの浸透で+28%増収。Projectは製品値上げの進捗も、不動産ディベロッパーの流動性の低下など、市場全体が弱含み、-5%減収
- 建築用事業は中国以外も堅調に推移し、全地域において増収
- 自動車用は、世界的な半導体不足やコロナ影響に伴う部品供給の停滞継続を背景に自動車生産台数が減少し、日本で減収
- ウクライナ情勢などを背景に、原材料価格が一段と高騰し、全地域で影響。さらなる販売価格の値上げや原材料代替品の調達、販管費の見直しなどを実施しており、今後も対策を継続する方針

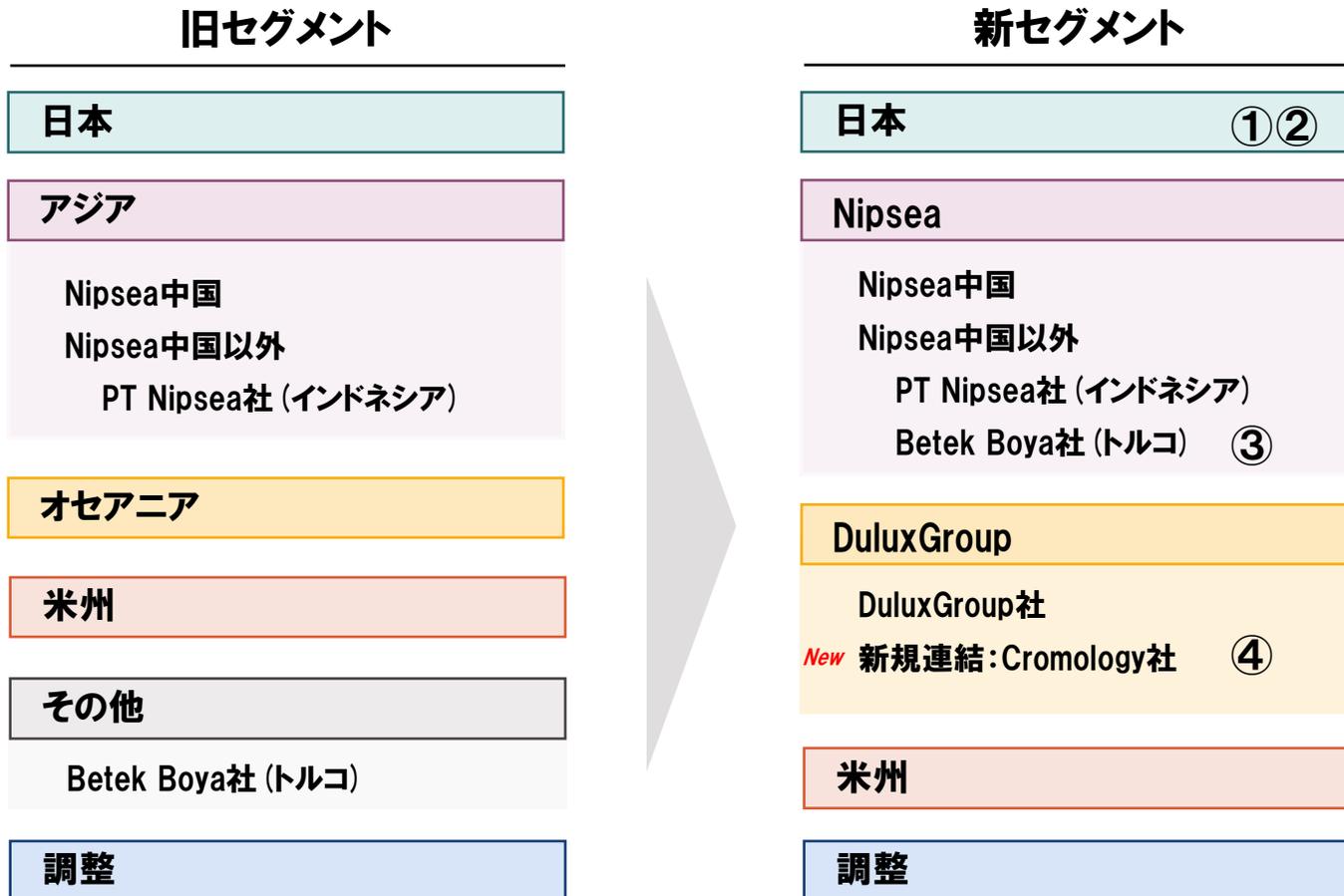
売上収益 YoY分析

塗料・コーティング事業			塗料周辺事業	為替影響	新規連結影響
販売数量	価格/ミックス	塗料事業 (その他) ※2			
c. +1%	c. +7%	c. +4%	c. +1%	c. +4%	c. +11%

※1 ①欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムへの譲渡(2021年8月10日発表)に伴い非継続事業へ分類したこと、②2021年第4四半期よりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したこと、
 ③PT Nipsea社(インドネシア)においてPPAが確定したこと、④2022年第1四半期よりセグメント区分を変更したことに伴い、2021年第1四半期の遡及修正を実施。以降のページも同様
 ※2 塗料・コーティング事業に含まれるものの、半製品やファインケミカルなど、塗料製品とは数量単価が大幅に異なる製品を指す。より合理的なデータを出すため、販売数量、価格/ミックスから切り出して開示

2. 報告セグメント区分の変更

2022年1Qより、経営管理単位または地域別のセグメント区分に変更



主なポイント

- ①船舶用塗料の海外事業を日本セグメントに帰属（従来は、アジアセグメントに帰属）
- ②本社費用のうち上場機能及び純粹持株会社機能以外の部門を分社化 (NPCS※) し、日本セグメントに帰属（従来は、調整項目として表示）
- ③Betek Boya社とNippon Paint Turkey社をNipseaセグメントに帰属（従来は、その他項目として表示）
- ④新規連結のCromology社をDuluxGroupセグメントに帰属。2022年5月末に買収完了予定のJUB社も同様

3. 原材料市況・当社状況

販売価格の値上げを戦略的に実施し、今期2Q以降の緩やかなマージン改善を見込む

2022年1Q

- 国際物流の混乱継続や散発的なプラントトラブルによる不安定な供給の継続、英米のロシア産原油の禁輸措置により原油・ナフサ価格が一段と上昇。現時点で短期間で下落する可能性は低い
- 中国ではサプライチェーンの制約に加え、ロックダウンや行動制限、ゼロコロナ政策により、原材料の生産から物流網への影響が継続。状況が流動的であるため、ゼロコロナ政策の影響は見通しが立てにくい
- 鉱石価格の継続的上昇や光熱費・物流費の高騰、需給バランスの不均衡などにより価格が一段と上昇。現時点で供給・価格とも緩む可能性は低い
- 建築用は中国DIY、中国以外のアジア、日本などで販売価格の値上げを実施
- 売上総利益率は前期比で下落も、2021年3Qを底として2四半期連続の改善

売上総利益率

21年1Q	21年2Q	21年3Q	21年4Q	22年1Q	前期比	前四半期比
40.9%	37.6%	36.4%	37.2%	38.5%	-2.4pt	+1.3pt

2022年2Q以降

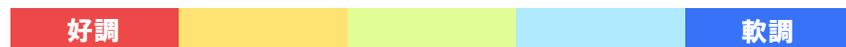
- 2月発表の2022年ガイダンスでは、国産ナフサの市場価格は2022年上期にかけて6万円以上で推移する想定であったものの、英米のロシア産原油の禁輸措置による原油・ナフサ上昇、円安により8万円台への上昇・高止まり
- 引き続き、原材料価格の上昇に見合う販売価格の値上げを継続中
- 営業利益率は値上げの浸透と相俟って2Q以降に緩やかに改善すると想定も、足元の原油・ナフサ相場などの動向により改善はやや遅れる見込み
- 中長期的には、販売価格の値上げによるマージン回復は十分可能な見通し

4. 市場環境・事業環境

建築用は、米州、日本で比較的堅調な市況を見込む

		日本	アジア (Nipsea中国)		豪州	米州	欧州
第1四半期	自動車	⇒	⇒			⇒	
	建築	⇒	↶ DIY	⇒ Project	↶	⇒	⇒
第2四半期 見通し	自動車		■				
	建築		DIY	Project			

■ 市況 (前年同期比)



■ 業況 (市場対比)*



※当社推定

5. 主要セグメントの決算概況

(億円)		短信ベース		実質ベース		概要
		22年1Q	YoY	22年1Q	YoY	
日本	売上収益	418	-1.9%	415	-2.5%	<ul style="list-style-type: none"> ▶汎用 コロナ影響の再拡大の影響を受けたものの、遅延していた塗装工事が進捗し、増収 ▶自動車用 半導体不足やコロナ影響による部品供給の停滞を受けて、自動車生産台数が前年を下回り、減収
	営業利益	3	-93.2%	3	-93.0%	※2022年第1四半期より、国内機能会社(NPCS)にかかる費用を日本セグメントに計上(2021年第1四半期の同費用相当額は、調整項目として表示)
Nipsea 中国	売上収益	963	32.0%	854	17.4%	<ul style="list-style-type: none"> ▶汎用(DIY) 数量増加による販売好調と製品値上げの奏功、旧正月の影響が想定よりも軽微であり、+28%増収 ▶汎用(PJT) 不動産ディベロッパーの流動性の低下、市場の弱含み、購買心理の冷え込みにより、-5%減収 ▶自動車用 半導体不足やコロナ影響による部品供給の停滞も、自動車生産台数が前年を上回り、増収
	営業利益	80	-14.9%	69	-24.2%	
Nipsea 中国 以外	売上収益	563	17.6%	606	26.5%	<ul style="list-style-type: none"> ▶Nipsea 中国以外 全体では+27%増収。マレーシアGr.・シンガポールGr.は数量・単価ともに増加して増収。タイGr.は自動車用で半導体不足やコロナ影響による部品供給の停滞も、完成車・部品メーカーでのシェア上昇により、増収 ▶PT Nipsea社 製品値上げや販売網の拡大、代理店の拡充、CCM※1の普及、工業用の成長により、増収 ▶Betek Boya社 力強い塗料需要の継続と製品値上げ、前年から取り組むブランド戦略の奏功により、増収
	営業利益	98	-2.7%	105	6.0%	
Dulux Group	売上収益	680	63.8%	440	5.9%	<ul style="list-style-type: none"> ▶DuluxGroup社(汎用) 製品値上げが奏功し、増収。ただし、2-3月に発生した洪水の影響や、コロナ影響によって塗り替え需要が一時的に高まった前期1Qに比べると、数量面ではわずかに伸び悩み ▶Cromology社 市場が弱含んだフランス事業の影響により数量面では減少したものの、製品値上げの奏功と、南欧におけるETICS※2販売の好調により、増収
	営業利益	68	18.1%	60	5.4%	
米州	売上収益	216	22.2%	197	11.1%	<ul style="list-style-type: none"> ▶汎用 製品値上げと堅調な需要、好天の影響、コロナ関連規制の緩和により、増収 ▶自動車用 半導体不足やコロナ影響による部品供給の停滞を背景とした生産調整の影響を受け、自動車生産台数が減少したことにより、前年並み
	営業利益	9	-6.8%	8	-15.1%	
調整	売上収益	-	-	-	-	※2022年第1四半期より、上場機能及び純粋持株会社機能にかかる費用のみを調整項目に計上
	営業利益	-10	-	-11	-	

6. 主なトピックス①

中国における債権に対する貸倒引当金の追加計上の可能性について (5月13日発表)

- 中国での足元のコロナ影響による市場の弱含みや購買心理の冷え込み、不動産ディベロッパーや競合他社の状況を踏まえ、15社程度の主要ディベロッパー向けの債権を中心に各社の財務状況を確認し、再検討中
- 信用リスクが相当程度増大した場合、試算の一つでは、2022年度において中国での債権に対する貸倒引当金100億～150億円程度を追加計上する可能性

◆ 業績への影響

- 現時点では2月14日発表の業績予想からの変更はなし
- 貸倒引当金を確定する一方で、グローバルでの製品値上げによる順調な業況、円安による収益押し上げ効果、JUB社の買収完了による追加収益や、原材料価格動向などの見極めが必要なことより、業績予想の修正が必要と判断する場合、速やかに開示予定

◆ 中国での債権に対する貸倒引当金

2021年度 (実績)	2022年度 (追加計上可能性)
36億円	(試算ベースの一例) 100億～150億円

6. 主なトピックス②

M&Aアップデート

- ◆ **Cromology社** (2022年1月20日クロージング済み)
 - ・ DuluxGroup社のパートナー会社として新体制へ移行開始
 - ・ シナジー発揮による成長機会の取り込みに向けた協力体制を立ち上げ

- ◆ **JUB社** (2021年10月29日発表)
 - ・ 当局の最終承認を取得完了
 - ・ 2022年5月末にクロージング見込み

- ◆ **中国自動車用連結子会社5社** (2021年11月2日発表)
 - ・ 当局からの承認取得済み。中国各地での登録変更手続き中。
2022年6月中にクロージング見込み

CROMOLOGY



Champagne地域拠点



JUB Group

JUB社オフィスと工場

6. 主なトピックス③

FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に選定（4月4日当社発表）

- 本インデックスはGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）のESGのパッシブ運用ベンチマークとして採用
- 今後も、グローバルの視点で特定したサステナビリティを巡る重要な課題（マテリアリティ）について、ビジネスとの結び付きをより一層強化した体制のもとで積極的に対応を推進

当社が構成銘柄に選定されているインデックス



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

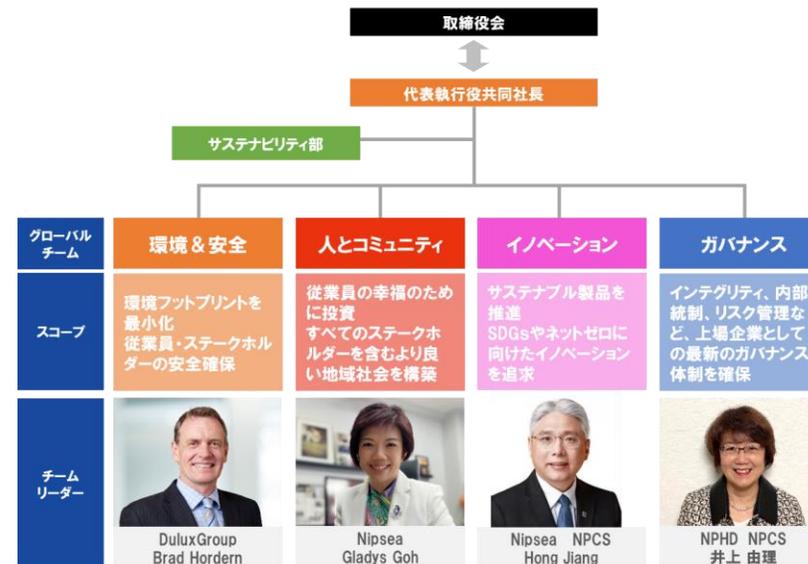
THE INCLUSION OF NIPPON PAINT HOLDINGS CO., LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF NIPPON PAINT HOLDINGS CO., LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI, MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

2021



Sompo Sustainability Index

2022年からのサステナビリティ体制



- 体制変更の狙い**
- 各パートナー会社のエキスパートを集めてグローバル4チームを結成。サステナビリティ活動とビジネスの結びつきを強化
 - 戦略や進捗を共同社長に直接レポート
 - 各パートナー会社の成功事例を共有
 - NPHD（サステナビリティ部）からは、資本市場や格付機関、法定開示トレンドを共有

- 新体制の概要**
- グローバルチームはマテリアリティ毎に設置※
 - チームリーダーが共同社長に直接報告、共同社長は取締役会に報告
 - チームリーダーが各地域のパートナー会社とOne Teamとなり、様々な取り組みを進めていく

※ガバナンスチームでは、各マテリアリティを踏まえ、当社の先進的なガバナンスと自律性を高める最善の方向性についてさらに議論する

3月16日公表の「中期経営計画進捗説明会」説明資料より

6. 主なトピックス④

Nipsea中国の立邦ブランドがさまざまな賞を獲得

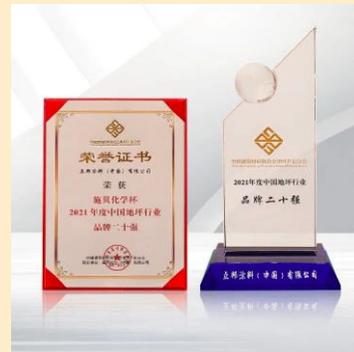
- 継続的な受賞は顧客や消費者からの信頼の証であり、今後も価値を提供するブランドとして製品やサービスの改良を継続していく

3月1日発表
家庭用家具協会・Hadoop Big Data・住宅世界
「2022年中国家庭用家具消費動向調査
および業界の代表的企業調査」



塗料業界・塗装具業界の
代表的企業に選定
消費者が最も好きな
塗料ブランド・塗装具ブランドに選定

3月14日発表
中国建材協会 床材産業分会 (CFA)
「年間中国床材産業トップ20ブランド賞」



2年連続
トップ20ブランドに選定

3月29日発表
中国不動産協会主催サミット
「中国の不動産開発企業
トップ500が選ぶ塗料ブランド」



11年連続 第1位
(ほか、複数のサブカテゴリーでも第1位を獲得)

4月20日発表
Chnbrand
2022年度中国ブランド指数
(C-BPI)



壁面用塗料: 6年連続 第1位
木部用塗料: 10年連続 第1位

補足資料

1. 2022年第1四半期決算 連結ハイライト … P13

2. 2022年第1四半期決算 セグメント別 … P16

(巻末) 参考データ

1. 2022年第1四半期決算 連結ハイライト

1-1. 決算ハイライト (連結)

(億円)	短信ベース			実質ベース			
	2021年 1Q ※1	2022年 1Q	YoY (%)	2021年 1Q ※1	2022年 1Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	2,227	2,841	27.6%	2,225	2,511	287	12.9%
営業利益	247	247	-0.0%	269	235	-34	-12.7%
営業利益率	11.1%	8.7%	-2.4pt	12.1%	9.3%	-	-2.7pt
EBITDA	315	349	10.6%	-	-	-	-
EBITDAマージン	14.2%	12.3%	-1.9pt	-	-	-	-
税引前利益	241	253	4.7%	279	241	-38	-13.6%
四半期利益※2	164	184	12.6%	199	179	-20	-10.2%

売上収益

- 短信ベースでは前年同期比+27.6%、実質ベースでは+12.9%の増収
- 短信/実質ベースの差は、Cromology社の新規連結や為替影響などによるもの
- 建築用は、主要地域での製品値上げや販売数量の増加が寄与し、増収

営業利益

- 短信ベースでは前年同期比-0.0%、実質ベースでは-12.7%の減益
- 増収効果に加えて、各地域でコスト最適化・原価低減活動に取り組むものの、原材料費率の悪化などにより営業利益率は低下

※1 P3注記記載の通り、2021年第1四半期の遡及修正を実施 ※2 継続事業における親会社の所有者に帰属する四半期利益

1-2. 決算ハイライト (セグメント別)

日本セグメントにおいて、2022年1QよりNPCSの費用を計上

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2021年 1Q ^{※1}	2022年 1Q	YoY (%)	2021年 1Q ^{※1}	2022年 1Q	YoY (額)	YoY (%)
日本	売上収益	426	418	-1.9%	426	415	-11	-2.5%
	営業利益 ^{※2}	43	3	-93.2%	43	3	-40	-93.0%
Nipsea	売上収益	1,208	1,526	26.3%	1,206	1,460	254	21.0%
	営業利益	195	178	-8.5%	191	175	-16	-8.5%
DuluxGroup	売上収益	415	680	63.8%	415	440	24	5.9%
	営業利益	57	68	18.1%	57	60	3	5.4%
米州	売上収益	177	216	22.2%	177	197	20	11.1%
	営業利益	9	9	-6.8%	9	8	-1	-15.1%
調整 ^{※3}	売上収益	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	-57	-10	-	-31	-11	20	-
合計	売上収益	2,227	2,841	27.6%	2,225	2,511	287	12.9%
	営業利益	247	247	-0.0%	269	235	-34	-12.7%

※1 P3注記記載の通り、2021年第1四半期の遡及修正を実施

※2 2022年第1四半期より、国内機能会社 (NPCS) にかかる費用を日本セグメントに計上 (2021年第1四半期の同費用相当額は、調整項目として表示)

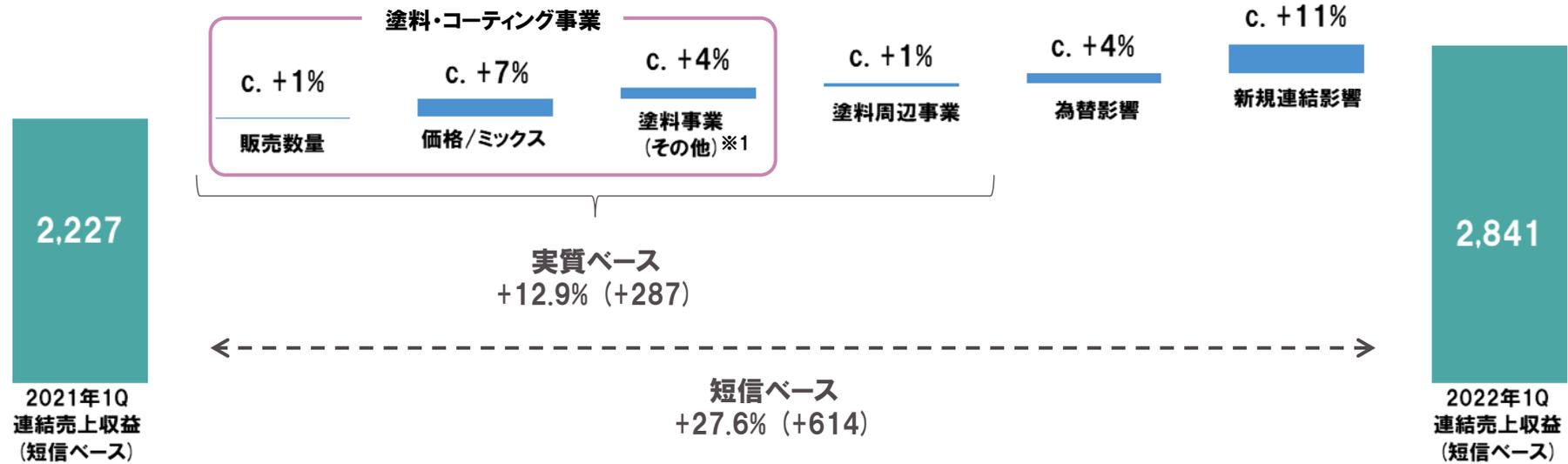
※3 2022年第1四半期より、上場機能及び純粋持株会社機能にかかる費用のみを調整項目に計上

2. 2022年第1四半期決算 セグメント別

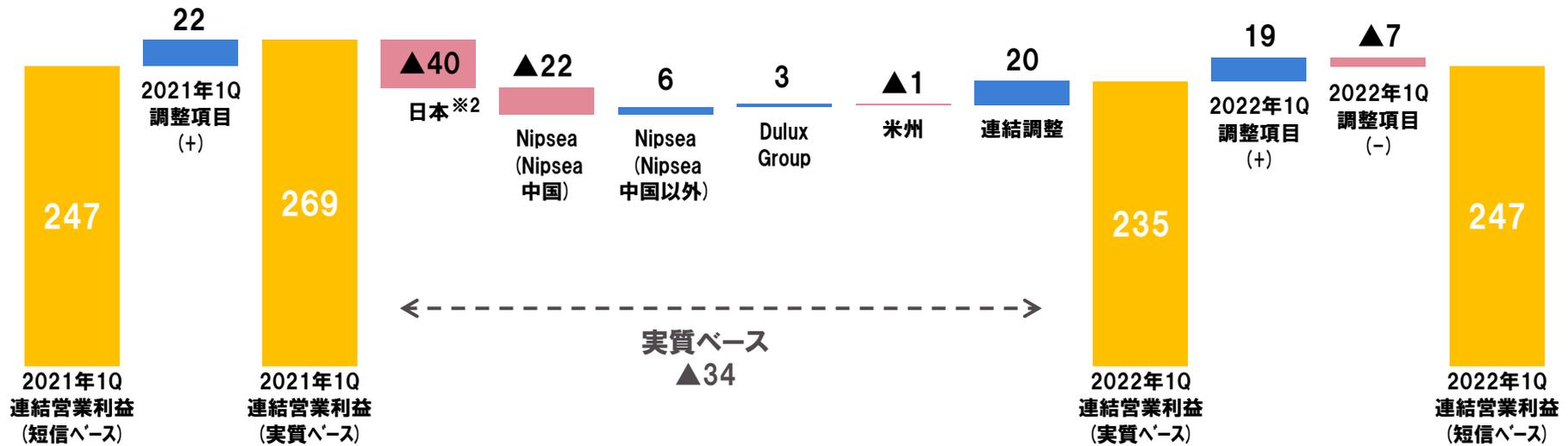
2-1. 売上収益・営業利益分析

(億円)

売上収益



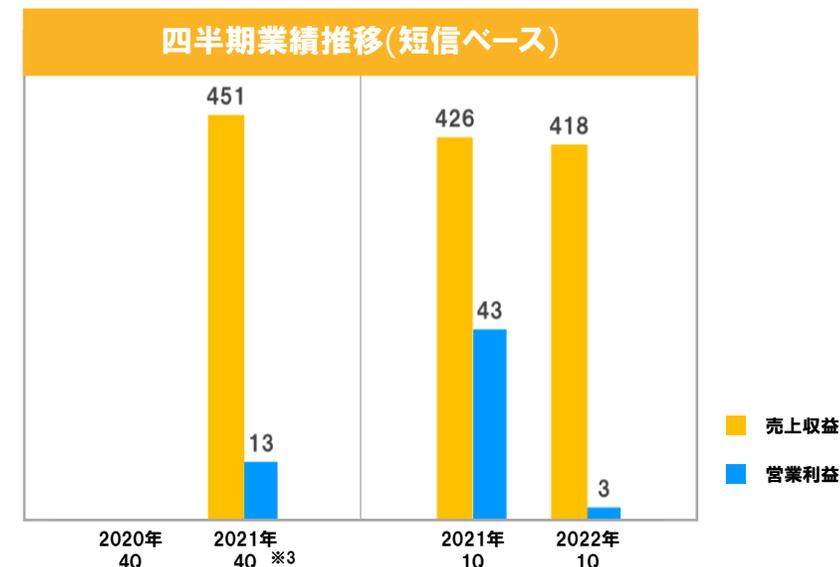
営業利益



2-2. 日本

(億円)

	短信ベース			実質ベース			
	2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (%)	2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (額)	YoY (%)
自動車用	102	87	-15.2%	102	87	-16	-15.2%
汎用	99	104	4.8%	99	104	5	4.8%
工業用	90	91	0.7%	90	91	1	0.7%
ファインケミカル	23	20	-13.3%	23	20	-3	-13.3%
その他 ^{※1}	112	117	4.3%	112	114	2	2.0%
合計	426	418	-1.9%	426	415	-11	-2.5%
営業利益 ^{※2}	43	3	-93.2%	43	3	-40	-93.0%
営業利益率	10.0%	0.7%	-9.3pt	10.0%	0.7%	-	-9.3pt



主な増減要因

- 自動車用 : 半導体不足やコロナ影響による部品供給の停滞を受けて、自動車生産台数が前年を下回り(前年同期比-9%^{※4})、減収
- 汎用 : コロナ影響の再拡大の影響を受けたものの、遅延していた塗装工事が進捗し、増収
- 工業用 : コロナ影響などを背景にコイルなどの販売数量が減少したことにより、前年並み
- 営業利益 : 原材料価格の高騰やNPCSの費用計上(従来は調整項目として表示)により、減益

※1 その他には船舶(海外を含む)・自動車補修等の事業を含む

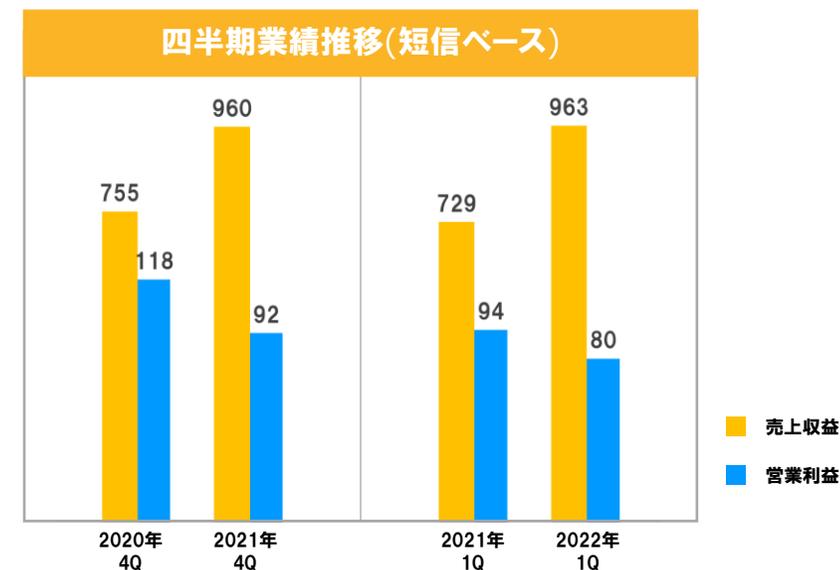
※2 2022年第1四半期より、国内機能会社(NPCS)にかかる費用を日本セグメントに計上(2021年第1四半期の同費用相当額は、調整項目として表示)

※3 2021年第4四半期の数値はプロフォーマ値

※4 IHS Markit

2-3. Nipsea (Nipsea中国)

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (%)	2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	自動車用	93	110	18.7%	93	98	5	5.5%
	汎用	573	793	38.4%	571	703	132	23.0%
	工業用	57	54	-6.1%	57	47	-9	-16.5%
	その他 ^{※1}	6	6	-2.2%	6	6	-1	-13.0%
	合計	729	963	32.0%	727	854	126	17.4%
営業利益		94	80	-14.9%	91	69	-22	-24.2%
営業利益率		12.8%	8.3%	-4.6pt	12.6%	8.1%	-	-4.5pt



主な増減要因

- 自動車用 : 半導体不足やコロナ影響による部品供給の停滞を受けたものの、自動車生産台数が前年を上回り(前年同期比+3%^{※2})、増収
- 汎用 : DIYは、旧正月の影響が想定よりも軽微にとどまり、各地で底堅い市場成長が継続したことで、+28%増収。
Projectは、不動産市場の弱含みとコロナ影響による工事の遅延で、-5%の減収
- 工業用 : コイルなどの販売不調により、減収
- 営業利益 : 汎用の増収効果も、原材料費率の悪化により、減益

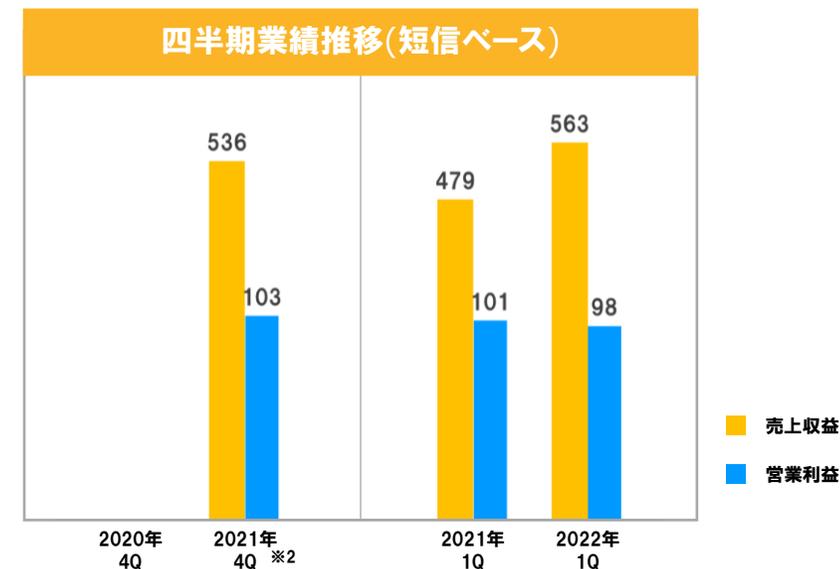
※1 その他には自動車補修等の事業を含む ※2 IHS Markit

2-4. Nipsea (Nipsea中国以外^{※1})

(億円)

	短信ベース			実質ベース			
	2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (%)	2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	479	563	17.6%	479	606	127	26.5%
営業利益	101	98	-2.7%	99	105	6	6.0%
営業利益率	21.1%	17.5%	-3.6pt	20.8%	17.4%	-	-3.4pt

※1 PT Nipsea社 (インドネシア)、Betek Boya社 (トルコ) の業績を含む (詳細は次ページ参照)



主な増減要因

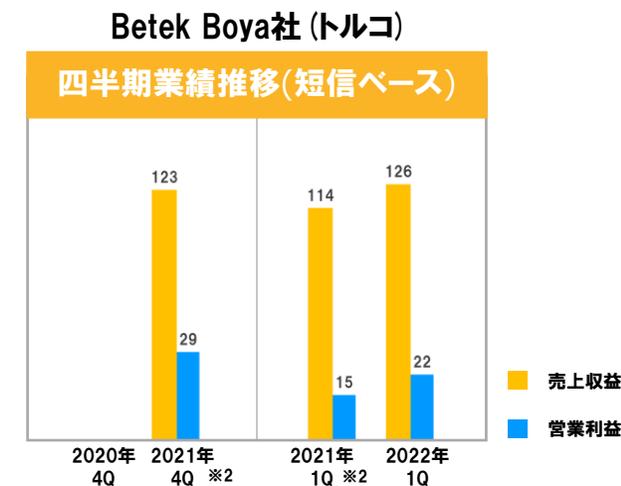
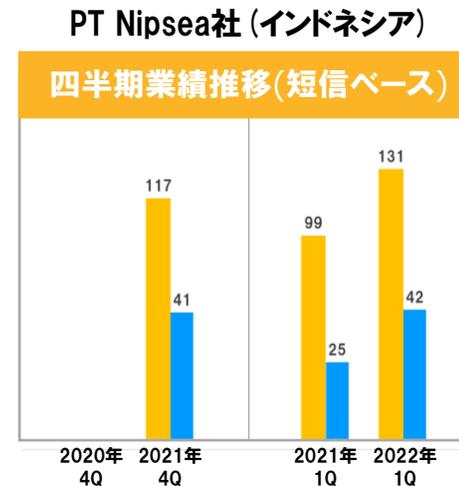
- マレーシアグループ : パキスタン、バングラデシュにおける力強い成長と、マレーシアなどでの製品値上げの奏功により、増収
- シンガポールグループ : シンガポール、ベトナム、スリランカでの好調な販売に加えて、製品値上げが奏功したことにより、増収
- タイグループ : 自動車用が半導体不足やコロナ影響による部品供給の停滞も、完成車・部品メーカーでのシェア上昇により、タイグループ全体としては増収
- 営業利益 : 原材料費率の悪化も、増収効果が相殺し、増益

※2 2021年第4四半期の数値はプロフォーマ値

2-5. PT Nipsea社 (インドネシア)・Betek Boya社 (トルコ)

(億円)

		短信ベース			実質ベース			
		2021年	2022年	YoY	2021年	2022年	YoY	YoY
		1Q	1Q	(%)	1Q	1Q	(額)	(%)
PT Nipsea社 (インドネシア)	売上収益	99	131	32.6%	99	120	21	21.3%
	営業利益	25	42	68.2%	39	38	-0	-0.5%
	営業利益率	25.2%	31.9%	6.8pt	39.0%	32.0%	-	-7.0pt
	営業利益率 ^{※1}	39.5%	32.4%	-7.1pt	39.5%	32.4%	-	-7.1pt
		短信ベース			実質ベース			
		2021年	2022年	YoY	2021年	2022年	YoY	YoY
		1Q ^{※2}	1Q	(%)	1Q ^{※2}	1Q	(額)	(%)
Betek Boya社 (トルコ)	売上収益	114	126	10.3%	114	209	95	83.7%
	営業利益	15	22	44.7%	15	34	19	129.4%
	営業利益率	13.1%	17.2%	4.1pt	13.1%	16.4%	-	3.3pt



PT Nipsea社 (インドネシア)

- 売上収益 : 製品値上げや販売網の拡大、代理店の拡充、CCMの普及、工業用の成長により、増収
- 営業利益 : 増収効果も、原材料価格の高騰や販促費などの増加により、前年並み

Betek Boya社 (トルコ)

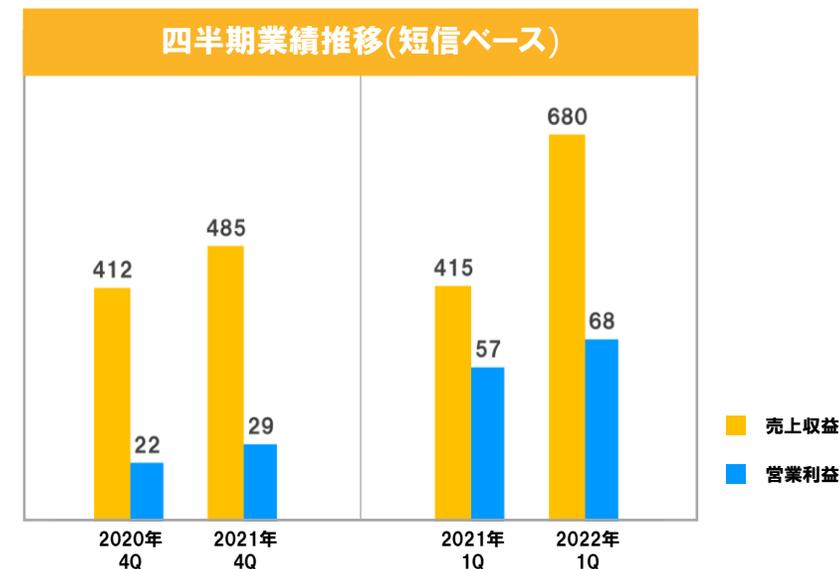
- 売上収益 : 製品値上げと、前年から取り組むブランド戦略の奏功により、増収
- 営業利益 : 増収効果に加え、製品ミックスの改善、ディスカウント減少による原材料費率の低下により、増益

※1 PPAによる棚卸資産の時価評価実現(約15億円)調整前。PPAによる無形資産償却は除く
 ※2 セグメント区分の変更により、セグメント間取引がセグメント内取引に変わった影響に伴い、遡及修正を実施

2-6. DuluxGroup^{※1}

(億円)

	短信ベース			実質ベース			
	2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (%)	2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益							
汎用	215	443	105.6%	215	229	14	6.4%
工業用	16	19	23.2%	16	19	3	19.3%
塗料周辺	184	218	18.5%	184	192	8	4.1%
合計	415	680	63.8%	415	440	24	5.9%
営業利益	57	68	18.1%	57	60	3	5.4%
営業利益率	13.8%	10.0%	-3.9pt	13.8%	13.8%	-	-0.1pt
営業利益率 ^{※2}	14.5%	10.4%	-4.1pt	14.5%	14.4%	-	-0.1pt



※1 新規連結のCromology社の業績を含む(詳細は次ページ参照)

主な増減要因

- 汎用 : 製品値上げが奏功し、増収。ただし、2-3月にニューサウスウェールズ州やクィーンズランド州で発生した洪水の影響や、コロナ影響によって塗り替え需要が一時的に高まった前期1Qに比べると、数量面ではわずかに伸び悩む
- 塗料周辺 : 消費者向けDIY、プロ向けDIFM^{※3}ともに販売好調で、製品値上げも奏功し、増収
- 営業利益 : 原材料価格は高騰するも、製品値上げが奏功したことにより増益

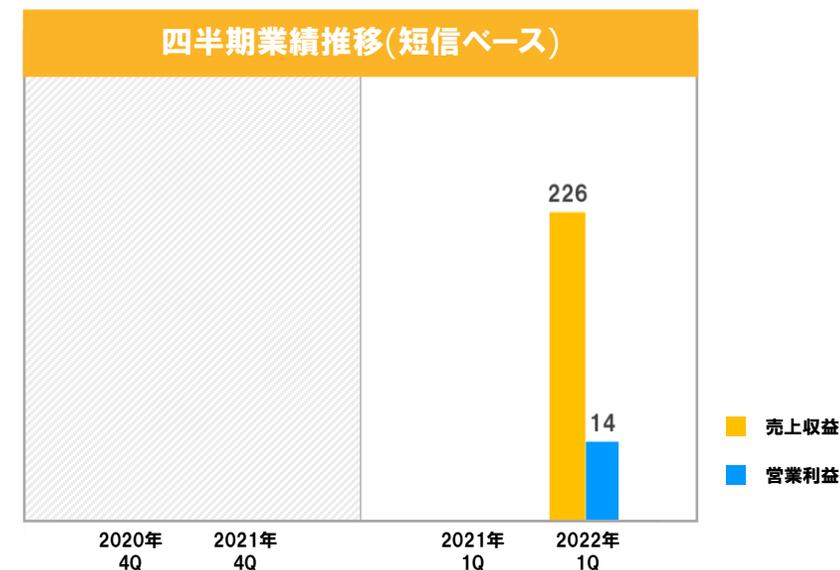
※2 PPAによる無形資産償却を除く

※3 Do It For Me: 業者による施工が必要な事業

2-7. 新規連結:Cromology社

(億円)

		短信ベース			実質ベース			
		2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (%)	2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (額)	YoY (%)
Cromology社	売上収益	-	226	-	-	-	-	-
	営業利益	-	14	-	-	-	-	-
	営業利益率※	-	6.4%	-	-	-	-	-



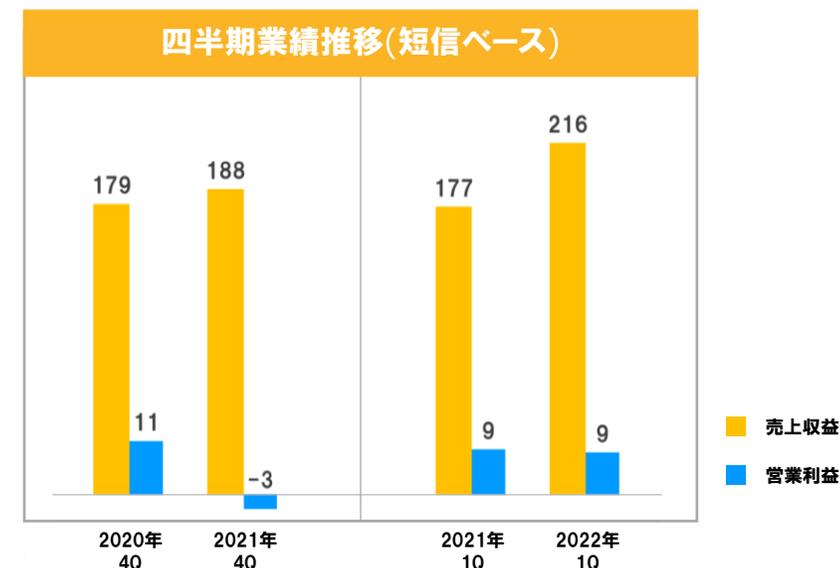
主な増減要因 (ご参考:現地通貨ベース概算/売上収益 YoY+3.4%)

- 売上収益 : 市場が弱含んだフランス事業の影響により数量面では減少したものの、製品値上げの奏功と、南欧におけるETICS販売の好調により、増収
- 営業利益 : 原材料価格が高騰するも、販管費の削減により、前年並み

※PPAは未確定

2-8. 米州

(億円)		短信ベース			実質ベース			
		2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (%)	2021年 1Q	2022年 1Q	YoY (額)	YoY (%)
売上収益	自動車用	62	70	13.0%	62	63	2	2.6%
	汎用	112	143	27.4%	112	130	18	15.9%
	ファインケミカル	3	4	16.8%	3	3	0	6.2%
	合計	177	216	22.2%	177	197	20	11.1%
	営業利益	9	9	-6.8%	9	8	-1	-15.1%
	営業利益率	5.2%	4.0%	-1.2pt	5.2%	4.0%	-	-1.2pt



主な増減要因

- 自動車用 : 半導体不足やコロナ影響による部品供給の停滞を背景とした生産調整の影響を受け、自動車生産台数が減少したことにより(前年同期比-3%※)、前年並み
- 汎用 : 堅調な需要と好天の影響、コロナ関連規制の緩和に加え、製品値上げの浸透が進み、増収
- 営業利益 : 汎用の増収効果と値上げの奏功も、米国での人材不足などを背景とする物流費の高騰、原材料価格の高騰が影響し、減益

<お問い合わせ先>

日本ペイントホールディングス株式会社 インベスターリレーション部

TEL +81 (0) 50-3131-7419 Email ir_kouhou@nipponpaint.jp

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等は、これらと異なる可能性があります。
万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社および情報提供者は一切責任を負わないことをご承知おきください。

2022年12月期 第1四半期決算説明資料 参考データ

2022年5月13日
日本ペイントホールディングス株式会社

-目次-

1. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (旧セグメント)	2
2. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (新セグメント)	4
3. DuluxGroup社・Betek Boya社・PT Nipsea社・Cromology社 売上収益・営業利益推移	6
4. 調整項目の内訳 (第1四半期 FY2021 vs FY2022)	7
5. 主要財務データ	9
6. 主要市況データ	10

1. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (旧セグメント)

(億円)		2018年					2019年					2020年 ^{※1}					2021年 ^{※1}				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
日本	自動車用	115	111	106	121	453	119	114	113	102	449	102	55	89	101	347	102	85	76	89	353
	汎用 (建築・重防食)	106	120	112	130	468	110	128	126	118	482	103	111	106	117	437	99	119	114	121	454
	工業用	95	100	100	112	406	100	102	101	104	407	91	84	85	94	353	90	96	96	100	381
	ファインケミカル	22	22	21	24	89	22	22	22	21	87	20	17	18	24	79	23	24	20	18	84
	その他 ^{※2}	91	106	107	107	412	88	96	101	116	401	92	95	107	111	405	96	91	94	93	374
	売上収益	430	459	447	493	1,828	438	463	464	461	1,826	408	362	403	447	1,620	410	415	400	421	1,646
	営業利益 ^{※3}	87	73	59	76	296	81	60	52	42	234	51	18	41	52	161	44	30	14	16	103
営業利益率 ^{※3}	20.3%	15.9%	13.3%	15.5%	16.2%	18.4%	12.9%	11.3%	9.1%	12.8%	12.5%	4.9%	10.1%	11.6%	9.9%	10.7%	7.1%	3.4%	3.7%	6.3%	
一過性要因 ^{※4}	23	-	-	-	23	20	-9	-11	-11	-10	-	-	2	0	2	-	-	-1	-0	-1	
オセアニア	汎用	-	-	-	-	-	-	-	66	180	246	170	189	200	211	771	215	216	220	253	904
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	5	15	20	13	12	16	15	57	16	19	19	20	74
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	-	61	149	210	135	149	186	185	655	184	192	197	212	784
	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	131	344	476	318	350	403	412	1,483	415	427	436	485	1,762
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	28	31	59	33	46	52	22	154	57	53	51	29	190
	営業利益率 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	21.4%	8.9%	12.3%	10.5%	13.2%	13.0%	5.4%	10.4%	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%
一過性要因 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-4	-4	-8	
米州	自動車用	72	70	65	67	273	67	67	63	62	259	60	25	64	62	211	62	61	55	55	233
	汎用 (建築)	100	120	117	109	446	99	127	121	107	454	109	120	124	113	465	112	143	134	129	518
	ファインケミカル	7	8	8	8	31	8	8	7	8	31	7	6	6	4	24	3	3	2	4	13
	その他 ^{※2}	0	1	0	0	2	0	1	1	0	2	0	1	0	0	2	-	-	-	-	-
	売上収益	179	198	190	185	752	175	203	191	177	746	177	151	194	179	701	177	207	192	188	764
営業利益	9	20	13	7	50	6	21	13	10	50	8	4	22	11	45	9	18	12	-3	36	
営業利益率	5.2%	10.2%	7.1%	3.8%	6.6%	3.6%	10.2%	6.7%	5.9%	6.7%	4.7%	2.4%	11.2%	6.4%	6.4%	5.2%	8.8%	6.2%	-1.8%	4.7%	
その他	自動車用 ^{※5}	36	32	28	33	128	32	30	26	30	118	4	1	4	5	14	5	4	3	5	16
	汎用	-	-	-	-	-	-	-	47	42	88	52	41	68	48	210	67	75	66	62	271
	工業用	1	1	0	1	3	1	0	8	9	18	8	7	10	11	37	11	12	14	14	50
	ファインケミカル	2	1	2	2	8	2	3	3	3	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他 ^{※2}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	-	-	-	-	-
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	-	23	22	46	20	25	33	34	112	36	50	37	47	171
	売上収益	39	34	30	36	139	35	33	107	105	280	84	75	117	100	376	119	141	120	128	508
営業利益	1	1	-2	-6	-5	-1	-3	8	-73	-70	11	7	22	15	54	15	14	13	30	71	
営業利益率	3.4%	2.3%	-6.0%	-15.5%	-3.8%	-2.6%	-10.4%	7.1%	-69.4%	-24.9%	13.3%	8.7%	18.6%	14.9%	14.4%	12.4%	9.8%	10.7%	23.4%	14.1%	
一過性要因 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	-	-78	-78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムへの譲渡 (2021年8月10日発表) に伴い非継続事業へ分類したこと、および2021年第4四半期よりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したことに伴い2020年以降の遡及修正を実施。
2020年1Q・2Q・3Q、2021年1Q・2Q・3Qはプロフォーマ値

※2 その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

※3 日本セグメントからの本部費用の調整項目への変更に関し、2019年は実施前、2020年以降は実施後の値を掲載

※4 一過性要因として、従来開示してきた調整項目のうち、補助金・保険金他 (補助金収入・保険金収入・固定資産売却益・国内再編プロジェクト)、M&A関連費用、減損損失、貸倒引当金の合計金額を掲載。

PT Nipsea社 (インドネシア) のPPAに伴う棚卸資産のステップアップの費用化 (約15億円) は含まず

※5 Nippon Paint Turkey社の自動車用事業

1. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (旧セグメント)

(億円)		2018年					2019年					2020年 ^{※1}					2021年 ^{※1}				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
アジア	自動車用	185	196	176	185	742	165	172	159	175	671	117	113	150	182	563	182	180	158	205	725
	汎用(建築・重防食)	546	622	640	502	2,311	543	656	653	585	2,437	405	660	753	708	2,526	788	1,047	1,078	1,012	3,924
	工業用	64	76	75	63	279	65	68	66	57	256	51	58	67	68	244	78	92	85	87	342
	ファインケミカル	16	18	17	15	66	15	16	15	16	60	12	11	14	17	54	16	17	16	19	68
	その他 ^{※2}	33	37	38	53	160	37	39	42	49	168	32	37	42	46	157	42	52	50	64	208
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	11	11	34
	売上収益	844	949	947	818	3,557	825	952	934	881	3,592	617	880	1,027	1,021	3,545	1,106	1,401	1,397	1,399	5,302
	営業利益	121	136	148	119	524	115	142	144	107	508	71	145	172	166	553	178	161	106	163	609
営業利益率	14.3%	14.3%	15.7%	14.6%	14.7%	13.9%	14.9%	15.4%	12.2%	14.1%	11.5%	16.4%	16.7%	16.2%	15.6%	16.1%	11.5%	7.6%	11.6%	11.5%	
一過性要因 ^{※3}	19	10	25	18	71	1	7	19	-25	2	1	8	3	20	32	2	4	-25	13	-6	

■アジア内訳

Nipsea 中国	自動車用	102	110	88	94	394	82	90	75	91	338	55	75	85	102	318	93	98	86	107	384
	汎用(建築・重防食)	434	522	532	403	1,892	443	554	553	477	2,027	315	598	652	595	2,160	573	850	921	781	3,124
	工業用	46	58	58	46	209	46	50	48	40	184	33	47	51	51	181	57	71	64	65	257
	その他 ^{※2}	4	4	5	10	23	8	7	7	5	26	4	6	7	7	23	6	7	5	7	26
	売上収益	586	694	683	554	2,517	579	702	683	612	2,575	406	725	795	755	2,681	729	1,025	1,076	960	3,791
	営業利益	87	106	113	78	384	91	114	113	83	401	47	139	135	118	439	94	100	72	92	359
営業利益率	14.9%	15.2%	16.6%	14.1%	15.3%	15.7%	16.2%	16.6%	13.6%	15.6%	11.5%	19.2%	17.0%	15.6%	16.4%	12.8%	9.8%	6.7%	9.6%	9.5%	
一過性要因 ^{※3}	19	10	25	18	71	1	7	19	1	28	1	7	3	19	29	2	4	-25	13	-6	

Nipsea 中国以外	売上収益	259	255	263	264	1,041	246	251	251	270	1,017	211	155	232	266	864	376	376	320	438	1,511
	営業利益	33	30	35	41	140	24	28	30	24	107	24	6	37	48	114	85	61	34	70	250
	営業利益率	13.0%	11.8%	13.4%	15.7%	13.5%	9.8%	11.3%	12.2%	9.0%	10.5%	11.4%	3.6%	15.8%	17.9%	13.2%	22.5%	16.2%	10.6%	16.1%	16.5%
	一過性要因 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	-	-	-26	-26	-	1	1	1	3	-	-	-	-	-

調整	売上収益	非開示					非開示					-				
	営業利益	非開示					非開示					-				
	一過性要因 ^{※3}	-					-					-20 -19 -22 -31 -92				

連結合計	売上収益	1,492	1,640	1,613	1,532	6,277	1,474	1,651	1,827	1,969	6,920	1,604	1,818	2,144	2,160	7,726	2,227	2,591	2,545	2,620	9,983
	営業利益	219	230	219	197	865	201	218	244	117	781	154	200	286	235	876	247	243	171	215	876
	営業利益率	14.7%	14.0%	13.6%	12.9%	13.8%	13.6%	13.2%	13.4%	5.9%	11.3%	9.6%	11.0%	13.4%	10.9%	11.3%	11.1%	9.4%	6.7%	8.2%	8.8%
	一過性要因 ^{※3}	42	10	25	18	94	21	-2	8	-114	-87	1	8	2	18	29	-23	-7	-30	6	-54

※1 欧州自動車用事業・インド事業に関しアウトラムへの譲渡(2021年8月10日発表)に伴い非継続事業へ分類したこと、および2021年第4四半期よりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したことに伴い2020年以降の遡及修正を実施。
2020年1Q・2Q・3Q、2021年1Q・2Q・3Qはプロフォーマ値

※2 その他には船舶・自動車補修等の事業を含む

※3 一過性要因として、従来開示してきた調整項目のうち、補助金・保険金他(補助金収入・保険金収入・固定資産売却益・国内再編プロジェクト)、M&A関連費用、減損損失、貸倒引当金の合計金額を掲載。
PT Nipsea社(インドネシア)のPPAに伴う棚卸資産のステップアップの費用化(約15億円)は含まず

2. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (新セグメント)

(億円)		2021年 ^{※1}					2022年
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
日本	自動車用	102	85	76	89	353	87
	汎用 (建築・重防食)	99	119	114	121	454	104
	工業用	90	96	96	100	381	91
	ファインケミカル	23	24	20	18	84	20
	その他 ^{※2}	112	115	117	123	468	117
	売上収益	426	439	423	451	1,740	418
営業利益	43	28	12	13	95	3	
営業利益率	10.0%	6.4%	2.8%	2.9%	5.5%	0.7%	
一過性要因 ^{※3}	-	-	-1	-0	-1	-	
Dulux Group	汎用	215	216	220	253	904	443
	工業用	16	19	19	20	74	19
	塗料周辺	184	192	197	212	784	218
	売上収益	415	427	436	485	1,762	680
	営業利益	57	53	51	29	190	68
	営業利益率	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%	10.0%
一過性要因 ^{※3}	-	-	-4	-4	-8	-9	
■DuluxGroup内訳							
Dulux Group社	汎用	215	216	220	253	904	237
	工業用	16	19	19	20	74	19
	塗料周辺	184	192	197	212	784	198
	売上収益	415	427	436	485	1,762	454
	営業利益	57	53	51	29	190	53
	営業利益率	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%	11.7%
一過性要因 ^{※3}	-	-	-4	-4	-8	-9	
Cromology社	売上収益	-	-	-	-	-	226
	営業利益	-	-	-	-	-	14
	営業利益率	-	-	-	-	-	6.4%
	一過性要因 ^{※3}	-	-	-	-	-	-

※1 ①欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムへの譲渡 (2021年8月10日発表) に伴い非継続事業へ分類したこと、②2021年第4四半期よりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したこと、
 ③PT Nipsea社 (インドネシア) においてPPAが確定したこと、④2022年第1四半期よりセグメント区分を変更したことに伴い、2021年1Qの遡及修正を実施。2021年2Q・3Q・4Q・通期については、プロフォーマ値
 ※2 船舶 (海外を含む)・自動車補修等の事業を含む
 ※3 一過性要因として、従来開示してきた調整項目のうち、補助金・保険金他 (補助金収入・保険金収入・固定資産売却益・国内再編プロジェクト)、M&A関連費用、減損損失、貸倒引当金の合計金額を掲載。
 PT Nipsea社 (インドネシア) のPPAに伴う棚卸資産のステップアップの費用化 (約15億円) は含まず

2. セグメント別 売上収益・営業利益推移 (新セグメント)

(億円)		2021年 ^{※1}					2022年
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
Nipsea	自動車用	186	184	160	210	741	212
	汎用 (建築・重防食)	855	1,122	1,144	1,074	4,195	1,113
	工業用	89	104	99	101	393	93
	ファインケミカル	16	17	16	19	68	21
	その他 ^{※2}	26	28	26	34	115	29
	塗料周辺	36	63	48	58	205	60
	売上収益	1,208	1,518	1,493	1,496	5,716	1,526
	営業利益	195	177	121	196	688	178
	営業利益率	16.1%	11.6%	8.1%	13.1%	12.0%	11.7%
一過性要因 ^{※3}	2	4	-25	13	-6	4	

■Nipsea内訳

Nipsea 中国	自動車用	93	98	86	107	384	110
	汎用 (建築・重防食)	573	850	921	781	3,124	793
	工業用	57	71	64	65	257	54
	その他 ^{※2}	6	7	5	7	26	6
	売上収益	729	1,025	1,076	960	3,791	963
	営業利益	94	100	72	92	359	80
	営業利益率	12.8%	9.8%	6.7%	9.6%	9.5%	8.3%
一過性要因 ^{※3}	2	4	-25	13	-6	4	

Nipsea 中国以外	売上収益	479	493	417	536	1,925	563
	営業利益	101	76	49	103	330	98
	営業利益率	21.1%	15.5%	11.7%	19.3%	17.1%	17.5%
	一過性要因 ^{※3}	-	-	-	-	-	-

米州	自動車用	62	61	56	55	233	70
	汎用 (建築・重防食)	112	143	134	129	518	143
	ファインケミカル	3	3	2	4	13	4
	売上収益	177	207	192	188	764	216
	営業利益	9	18	12	-3	36	9
	営業利益率	5.2%	8.8%	6.2%	-1.8%	4.7%	4.0%
一過性要因 ^{※3}	-	-	-	-	-	-	

調整	売上収益	-	-	-	-	-	-
	営業利益	-57	-33	-25	-19	-134	-10
	一過性要因 ^{※3}	-26	-10	-	-2	-39	-

連結合計	売上収益	2,227	2,591	2,545	2,620	9,983	2,841
	営業利益	247	243	171	215	876	247
	営業利益率	11.1%	9.4%	6.7%	8.2%	8.8%	8.7%
	一過性要因 ^{※3}	-23	-7	-30	6	-54	-5

- ※1 ①欧州自動車用事業・インド事業に関しウットラムへの譲渡 (2021年8月10日発表) に伴い非継続事業へ分類したこと、②2021年第4四半期よりクラウドコンピューティング契約に関する会計方針を変更したこと、③PT Nipsea社 (インドネシア) においてPPAが確定したこと、④2022年第1四半期よりセグメント区分を変更したことに伴い、2021年1Qの遡及修正を実施。2021年2Q・3Q・4Q・通期については、プロフォーマ値
- ※2 自動車補修等の事業を含む
- ※3 一過性要因として、従来開示してきた調整項目のうち、補助金・保険金他 (補助金収入・保険金収入・固定資産売却益・国内再編プロジェクト)、M&A関連費用、減損損失、貸倒引当金の合計金額を掲載。
PT Nipsea社 (インドネシア) のPPAに伴う棚卸資産のステップアップの費用化 (約15億円) は含まず

3. DuluxGroup社・Betek Boya社・PT Nipsea社・Cromology社 売上収益・営業利益推移

(億円)		2019年 ^{※1}					2020年 ^{※1}					2021年 ^{※1}					2022年 ^{※1}
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
DuluxGroup (連結)	売上収益	連結前					318	350	403	412	1,483	415	427	436	485	1,762	680
	営業利益	連結前					33	46	52	22	154	57	53	51	29	190	68
	営業利益率	連結前					10.5%	13.2%	13.0%	5.4%	10.4%	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%	10.0%
DuluxGroup社	売上収益	連結前					318	350	403	412	1,483	415	427	436	485	1,762	454
	営業利益	連結前					33	46	52	22	154	57	53	51	29	190	53
	営業利益率	連結前					10.5%	13.2%	13.0%	5.4%	10.4%	13.8%	12.4%	11.7%	6.0%	10.8%	11.7%
Cromology社	売上収益	連結前					連結前					連結前					226
	営業利益	連結前					連結前					連結前					14
	営業利益率	連結前					連結前					連結前					6.4%
Betek Boya社 (トルコ) ^{※2}	売上収益	連結前					80	74	113	95	362	114	137	117	123	492	126
	営業利益	連結前					10	6	20	13	49	15	15	15	29	75	22
	営業利益率	連結前					12.4%	8.3%	18.0%	13.6%	13.6%	13.1%	11.0%	13.2%	23.7%	15.2%	17.2%
PT Nipsea社 (インドネシア)	売上収益	連結前					連結前					99	97	81	117	395	131
	営業利益	連結前					連結前					25	32	20	41	118	42
	営業利益率	連結前					連結前					25.2%	32.3%	24.1%	35.4%	29.7%	31.9%
為替レート (期中平均)	円/米ドル	110.3	110.0	109.2		109.2	109.1	108.2	107.2		106.4	107.1	108.5	109.1		110.4	117.8
	円/人民元	16.5	16.2	15.9		15.8	15.5	15.3	15.3		15.4	16.5	16.8	16.9		17.1	18.6
	円/豪ドル	-	-	72.9		74.7	70.5	71.1	72.8		73.7	82.6	83.4	82.4		82.7	85.2
	円/トルコリラ	-	-	19.0		18.9	17.5	16.6	15.8		15.2	14.0	13.5	13.3		12.5	8.4
	円/インドネシアルピア	-	-	-		-	-	-	-		-	0.0075	0.0076	0.0076		0.0077	0.0082

※1 各社業績は、Cromology社を除きセグメントベース(内部取引消去後、PPA反映後)を掲載。

またDuluxGroup社は2019年9月、BetekBoya社は2019年7月、PT Nipsea社は2021年1月、Cromology社は2022年1月より当社業績に連結

※2 セグメント区分の変更により、セグメント間取引がセグメント内取引に変わった影響に伴い、2021年1Q以降の数値に関して遡及修正を実施

4. 調整項目の内訳 (第1四半期 FY2021 vs FY2022)

(億円)		2021年 1Q					2022年 1Q				
		為替影響	補助金等 ^{※1}	M&A 関連費用	新規連結 影響	合計	為替影響	補助金等 ^{※1}	M&A 関連費用	新規連結 影響	合計
日本	自動車用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	汎用 (建築・重防食)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	工業用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他 ^{※2}	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
	売上収益	-	-	-	-	3	-	-	-	3	
	営業利益	-	-	-	-	-0	-	-	-	-0	
Dulux Group	汎用	-	-	-	-	-	7	-	-	206	214
	工業用	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	塗料周辺	-	-	-	-	-	6	-	-	20	26
		売上収益	-	-	-	-	14	-	-	226	241
		営業利益	-	-	-	-	2	-2	-7	14	7
■DuluxGroup内訳											
Dulux Group社	汎用	-	-	-	-	-	7	-	-	-	7
	工業用	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	塗料周辺	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
		売上収益	-	-	-	-	14	-	-	-	14
		営業利益	-	-	-	-	2	-2	-7	-	-7
Cromology社	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	226	226	
	営業利益	-	-	-	-	-	-	-	14	14	

※1 補助金等は補助金・国内拠点の再編プロジェクト関連などを含む

※2 船舶 (海外を含む)・自動車補修等の事業を含む

4. 調整項目の内訳 (第1四半期 FY2021 vs FY2022)

(億円)		2021年 1Q					2022年 1Q				
		為替影響	補助金等 ^{※1}	M&A 関連費用	新規連結 影響	合計	為替影響	補助金等 ^{※1}	M&A 関連費用	新規連結 影響	合計
Nipsea	自動車用	0	-	-	-	0	16	-	-	-	16
	汎用 (建築・重防食)	2	-	-	-	2	65	-	-	-	65
	工業用	0	-	-	-	0	-2	-	-	-	-2
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	0	-	-	-	0
	その他 ^{※2}	0	-	-	-	0	2	-	-	-	2
	塗料周辺	-	-	-	-	-	-30	-	-	15	-15
	売上収益	2	-	-	-	2	51	-	-	15	67
営業利益	-	2	-	2	4	-2	4	-	2	3	
■Nipsea内訳											
Nipsea 中国	自動車用	0	-	-	-	0	13	-	-	-	13
	汎用 (建築・重防食)	2	-	-	-	2	90	-	-	-	90
	工業用	0	-	-	-	0	6	-	-	-	6
	その他 ^{※2}	0	-	-	-	0	1	-	-	-	1
	売上収益	2	-	-	-	2	109	-	-	-	109
営業利益	-	2	-	-	2	7	4	-	-	10	
Nipsea 中国以外	売上収益	-	-	-	-	-	-58	-	-	15	-43
	営業利益	-	-	-	2	2	-9	-	-	2	-7
米州	自動車用	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
	汎用 (建築・重防食)	-	-	-	-	-	13	-	-	-	13
	ファインケミカル	-	-	-	-	-	0	-	-	-	0
	売上収益	-	-	-	-	-	20	-	-	-	20
営業利益	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
調整	売上収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	-	-	-26	-	-26	1	-	-	-	1
連結合計	売上収益	2	-	-	-	2	88	-	-	242	330
	営業利益	-	2	-26	2	-22	1	2	-7	16	12

※1 補助金等は補助金・国内拠点の再編プロジェクト関連などを含む

※2 自動車補修等の事業を含む

5. 主要財務データ

【設備投資・減価償却・研究開発費】

(億円)		2021年 1Q	2022年 1Q
設備投資	有形固定資産	88	113
	無形資産	9	12
	合計	97	126
減価償却費	有形固定資産	67	80
	無形資産	17	22
	合計	84	102
研究開発費		56	62

【その他経営指標】

	2021年 12月末	2022年 3月末
親会社所有者帰属持分比率(%)	49.1	45.5
ネットデット ^{※1} (億円)	4,293	6,317
EPS(円)	29.41	7.70

※1 ネットデット＝社債及び借入金(流動・非流動)＋その他の金融負債(流動・非流動)
－現金及び現金同等物－その他の金融資産(流動)

【連結損益計算書 為替換算レート】 ※期中平均レート

	2020年 通期	2021年 通期	2022年 1Q	2022年 通期予想
円/米ドル	106.4	110.4	117.8	114.0
円/人民元	15.4	17.1	18.6	17.8
円/豪ドル	73.7	82.7	85.2	84.0
円/トルコリラ	15.2	12.5	8.4	8.1
円/インドネシアルピア	-	0.0077	0.0082	0.0080

【連結財務状態計算書 為替換算レート】 ※期末日レート

	2021年 12月末	2022年 3月末
円/米ドル	115.0	122.4
円/人民元	18.1	19.3
円/豪ドル	83.4	91.9
円/トルコリラ	9.1	8.4

6. 主要市況データ

<塗料市況>	2018年					2019年					2020年					2021年					2022年
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
日本-販売数量 ^{※1} (万t)	44	43	44	47	178	43	43	43	43	172	40	36	38	42	156	40	40	40	41	161	24

※1 日本塗料工業会発表、2022年1Qは1-2月

<自動車生産台数 ^{※2} > (万台)	2018年					2019年					2020年					2021年					2022年	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	
日本	241	220	218	244	924	243	230	229	220	922	225	120	201	228	774	215	186	155	188	744	195	
中国	702	703	640	732	2,777	634	579	602	757	2,572	321	603	638	774	2,335	579	572	545	671	2,368	595	
北米	アメリカ	288	282	259	274	1,103	287	285	266	255	1,093	247	93	270	253	862	247	215	204	222	888	237
	メキシコ	97	100	100	96	393	99	99	95	82	375	93	28	91	91	304	82	78	69	72	301	83
	カナダ	53	54	44	49	200	48	51	46	47	192	38	17	41	41	136	32	25	22	26	105	31
合計	438	436	403	419	1,696	435	435	407	384	1,660	378	138	402	385	1,302	361	318	295	320	1,294	351	

※2 日本:2019年以前はマークラインズ発表、2020年以降はIHS Markit発表、中国:2019年以前は中国汽车工業協会発表、2020年以降はIHS Markit発表、北米:IHS Markit発表

<その他の市況・日本>	2018年					2019年					2020年					2021年					2022年
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
新設住宅着工戸数(万戸) ^{※3}	20.5	24.5	24.6	24.6	94.2	21.6	23.4	23.3	22.3	90.5	19.4	20.5	21.0	20.7	81.5	19.1	22.1	22.5	22.0	85.6	20.0
建設機械生産台数(万台) ^{※4}	9.7	9.9	10.0	11.1	40.7	10.5	10.5	10.1	8.1	39.2	9.6	8.4	8.4	9.9	36.3	10.3	11.2	10.6	11.4	43.6	7.6
工作機械生産台数(万台) ^{※5}	2.7	2.0	1.9	1.8	8.5	1.8	1.6	1.5	1.3	6.2	1.2	1.0	1.1	1.3	4.6	1.6	1.9	1.6	1.6	6.8	1.2

※3 国土交通省発表 ※4 日本建設機械工業会発表、2022年1Qは1-2月 ※5 日本工作機械工業会発表、2022年1Qは1-2月

<ナフサ価格(当社推定)>	2018年					2019年					2020年					2021年					2022年
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
国産ナフサ(円/KL)	47,900	48,700	53,500	54,200	51,200	41,200	45,400	40,200	41,300	42,000	44,800	25,000	30,200	31,300	32,900	38,800	47,700	53,500	62,800	50,100	64,600